

授業科目名		開講年次	開講期間	単位数	授業形態
エンドオブライフケア学特論Ⅵ(メンタルヘルス)		1	前期	2	講義 30時間
担当教員	田中美恵子、久保幸代、中島洋一、松丸直美、松谷典洋				
授業概要	あらゆる発達段階にある人々の精神的健康問題について理解し、代表的な疾患の病態、治療について学び、精神障害とともに生きる人々と家族が地域で安心して生活し続けるための看護援助、ならびに地域における精神保健活動について学修する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神保健問題の現状と課題、精神保健医療福祉施策体制について理解できる。</li> <li>2. 精神保健の概念および精神疾患の体系を理解し、代表的な精神疾患の病態、精神保健問題の特徴について理解できる。</li> <li>3. 精神機能の評価とアセスメント方法について理解できる。</li> <li>4. 援助関係の形成技法を理解するとともに、精神看護で用いられる主要な理論・モデル、治療技法について理解できる。</li> <li>5. 精神科リハビリテーション訪問看護、当事者活動、家族支援について理解できる。</li> <li>6. せん妄、物質依存、子どものメンタルヘルス、周産期のメンタルヘルス、災害時のメンタルヘルスなど、地域のメンタルヘルス支援について理解できる。</li> <li>7. 精神障害者のための地域包括ケアシステムの実践について理解できる。</li> </ol>				
履修条件	特になし				
授業計画	回	内容	担当教員		
	1	精神保健問題の現状と課題、精神保健医療福祉施策	田中・松丸		
	2	精神保健の概念、精神疾患の疾患体系(ICD/DSM)と今日の精神保健問題(ひきこもり、虐待、自傷行為等)	田中		
	3	主要精神疾患の理解 (統合失調症・うつ病、アルコール依存症、薬物依存症、摂食障害等)	田中		
	4	精神機能の評価とアセスメント(MSE)	田中		
	5	援助関係の形成技法(対人関係論的アプローチ)	田中		
	6	主要な理論・モデル(ストレス-脆弱性モデル、リカバリーモデル)治療技法(精神療法・認知行動療法)	田中		
	7	精神科薬物療法と心理教育	中島		
	8	精神科リハビリテーション(SST 就労支援)、訪問看護、当事者活動(ピアカウンセリング)、家族支援	田中・松丸		
	9	せん妄と高齢者のメンタルヘルス	松谷		
	10	物質依存とセルフヘルプグループ	中島		
	11	自殺予防(学校・地域・職域における自殺予防)	田中		
	12	子どものメンタルヘルス(発達障害・学習障害等)	田中・松丸		
	13	周産期メンタルヘルス(マタニティーブルー、虐待)	久保		
	14	災害時のメンタルヘルス(PTSD、グリーフケア)	田中		
	15	精神障害者のための地域包括ケアと多職種連携	田中・松丸		
教科書	特になし				
参考書	その他、必要に応じて紹介する。				
評価方法・基準	事前学習(20%)、プレゼンテーション(40%)、討論の内容(30%)、レポート(10%)で評価する。				
事前・事後学習	事前に示した資料を読んでおくこと(1時間程度)。事後には講義で学んだ技術を実習で応用してみること(2時間程度)。				